大会討論 代議員発言要旨

学校統廃合子どもたちの希望の光をうしなわせるな

中野支部　水谷代議員

水谷代議員

昨年私の勤務する学校の統廃合をめぐり、保護者、地域、同窓会などの統廃合反対の運動が起こりました。わずか二ケ月で五千を超える署名を集約しましたが、中野区十か年計画にもとづく統廃合は決定されました。

ひとつひとつの行事が最後となる中、最高に楽しい思い出としていこう、子どもたちの不安を少しでも取り除き、新しい学校への希望を見いだせるようにと、全校あげて最後の一年間のとりくみをすすめました。

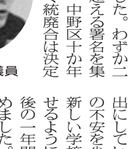
私のクラスも「この学校の心を新しい学校へ引き継いでいきます。」と閉校式でよびかけ、寂しさをこらえ、精一杯、希望を見いだそうとする子どもたちの姿にみんな感動する思いでした。

子どもたちの思いは、教職員が上からやらされたり、命令されたりしてとりくんでいたら絶対にうまれません。一致協力した教職員の思いがあるからです。

主任教諭制度やOJTは絶対に許せない。何年かかったとしても、どんなことがあってもこの制度は、廃止していきたいと思っています。

「私立はお金がかかる」豊かな高校教育の保障を

足立支部　名越代議員


名越代議員

この春、中学三年生を卒業させました。今年ほど、生徒の家庭に格差があると思ったことはありません。都教組調査で、都立高校しか受験しない生徒が推計で卒業生の14・5％、足立区では倍以上の32・5％でした。

「うちはすぐ下に弟がいるので、お姉ちゃんは都立、だめなら働いてもらいます。」と言われた子。

「うちの子も○○チャンと同じ私立△△高校受けられます か」と聞く他国からきたお母さん。子どもが「私立はお金がかかるんだよ」と説明すると、「どうして？成績は同じじゃないの」と納得できないお母さん。

別の母親は、教材費を払いきれずに「義務教育なのになんでこんなにお金がかかるんですか。もう、学校をやめさせたいです」と。日本国憲法の大事な理念が危うくなっています。

不安を煽り、不公平感を募らせる入試制度を改めて、すべての子どもの努力を真切ならない、豊かな高校教育を保障することが、私たちの責務です。

主任教諭制度は学校を変えた多面的なたたかいを

港支部　永井代議員

永井代議員

（はじめに、主任教諭を受験した小林代議員から話があった後、永井代議員が以下のように発言しました。）

この主任教諭制度は、学校を変えたと実感しています。絶対に廃止すべきです。

選考にあたって、一人一人の思いはみな違っていました。七割近くの分会から回答があった「主任教諭アンケート」を見ると、現場ではまだあまり変化はないようですが、これから本格的な矛盾が生じてくることはまちがいありません。一人一人の思いをくみ上げ、多面的なたたかいを組んでいきたいと思います。

「主任教諭」子どもの実態を無視した押しつけを告発

西多摩支部　杉山代議員

杉山代議員

ある職場では、主幹と主任教諭を除くと5人だけになって、ヒラの教諭は学年主任をはずされ、少ない職場では、主任教諭でない人が、賃下げされながら主任をやっています。

だまし討ちのような選考であったにもかかわらず、いったん発足すれば大手をふって格差がまかり通り、保護者・生徒にも宣伝されています。ピラミッド型の支配と人事考課やOJTの押しつけで、命令に逆らわない教職員をつくり、子どもの実態を無視した教育が、論議もされずに持ち込まれています。

西多摩支部では「主任教諭黒書」づくりを進めています。それを活用して職場、地域で廃止の世論を作っていきます。合わせて切り下げられた二級賃金の改善を実現することが大切です。子どもたちの発達を保障するために頑張る教職員をこそ励まして、都教組に団結してがんばりましょう。

例えば、選考結果の開示は絶対に必要です。それが、制度の矛盾を明らかにする一つになると思います。

港支部は、一人分会も多く、日常の組合活動はたなかな困難ですが、支部ニュースの毎週発行、教育委員会の傍聴にとりくみ、敏速送会には二名を上回る参加者がありました。労安法の前進、三十人学級実現の区議会請願署名もありました。組合員拡大でも前進する決意です。

養護教員の複数配置を心の悩みをもった子どもの対応

板橋支部　養護教員部　石村代議員

石村代議員

養護教員部では、毎年大規模校の複数配置拡充署名と都教委要請を行っています。皆さんのおかげで毎年署名は一万筆をこえます。

現在、都は二十六学級以上学級数基準のため、国の基準の小学校八五一人、中学校八〇二人以上の児童生徒がいても、一人勤務の学校が、二十三校あります。

一人勤務の大規模校では、一日百人をこえる来室者に一人で対応しているから悩みをもった子どもがきても丁寧に対応できない、健診の準備、後かたづけにおわれ、毎日おそくなる、給食がよく二時過ぎになるなど大変です。

今年度も複数配置の運動をすすめていきますが、同時に三十人学級が実現すれば、都の二十六学級という基準でも多くのところで複数配置が実現します。みんなの願いの三十人学級の運動も大きく広げていきましょう。

衛生委員会発足させる労安の風を

豊島支部　佐々木代議員

佐々木代議員

豊島区では昨年からやっと衛生委員会が発足しました。労安のとりくみは何が楽しいか。その一つ。中央の衛生委員会では、勤務時間内に対区交渉ができるようなものです。

労安のとりくみは、教職員が職場を巡視しました。職場の問題点がどんどん出されています。長時間過密労働についても議論があがって引き続き話し合っていくことになっています。どんど要求が通る感じです。

二番目に楽しいこと。学校が変わることです。私は衛生推進者として校長と話し合いしています。去年はトイレを変えることを校長に要求。校長が区に要請し、わずか半年で改修されました。勤務時間の実態調査も校長に要求し、することになりました。昨年、都教組レベルで労安対策委員会ができました。支部からも出てきてください。話を聞きたい支部があればどこでもいきます。ローアンの風Part II実践編が出ます。豊島でも組合に三人入りました。

すべて秋に実施させるなどしてきました。教育委員長はつくる会」教科書を強引に採択しようとする人物でした。

小林市長は、昨年前教育長、前教育委員長の再任をしませんでした。それに対して、前教育長は他市に住んでいたのに小平に住所を移して、立候補してきました。私たちは小林市政を守れと、地区労を中心に労働者選対に結集して、結果としてダブルスコアの大差で圧勝しました。

都議選は私たちの要求を実現させる第一歩です。税金をオリンピック招致や新銀行東京に湯水のように使う都政。ほんの一部で三十人学級が実現します。怒りの都民世論をつくっていく決意です。

都議選は三十人学級実現要求を実現させる第一歩

北多摩東支部　水島代議員

水島代議員

北多摩東支部は九つの地区協があります。狛江、西東京、小平市で革新民主市政を守りました。

小林市長が誕生する前の小平は、教育長が教職員の管理統制を強め、小平に異動を希望する人がいない評判の悪い市でした。教育行政は、アクションプログラムなどの課題を学校におけたり、運動会は

組合加入を進め、元気な職場を作り、元気な子どもを育てたい

荒川支部　中山代議員

中山代議員

荒川でも自己申告書や頻繁な研修とその報告書の提出などで、教職員の多忙化は進む一方です。

学校現場は、その勤務時間のほとんどを教師本来の仕事でない雑務に時間を割かねばならない現状があります。私は授業準備や子どもと向き合う時間が確保できないことに危機感を感じています。

昨年度、八名の新規組合加入がありました、先日の支部大会では新規加入の方が「学習交流会を通して、区の研修では学べない貴重な学習ができた」と語ってくれて嬉しく思いました。

教師が元気になれば学校は活気が溢れます。活気の溢れる学校で子どもは生き生きと育ちます。今こそ教師がつながりを強め、元気になれる職場を作っていくことが必要です。

私は、パワハラ等の大きな悩みから、パソコン操作等の小さな悩みまで何でも相談に乗って、つながりを強め組合を強く大きくしていきたいと思っています。

今、子どもと教育を守る大運動を、全都の各地から

八王子支部　糀谷陽子

糀谷代議員

今の教育政策のもとで、子どもたちが悲鳴をあげています。子どもと教育を守ることは、待ったなしの課題です。それぞれの地域から、大運動をすすめましょう。

主任教諭問題の基本は、制度が導入されても、「間違った教育」に手を貸すわけにはいかないという教職員の団結を、②教育の問題として、父母・都民とともに、③構造改革反対、日本の政治の大本を変えるたたかいにつなげて）を基本に、外に出て反対の声をひろげましょう。

同時に、私たちが求めている（「子どもたちが願っている」本当の教育とは何かということを、実践と交流、研究を通してあきらかにしていくこと、それを若い人たちとともにすすめていくことが求められていると思います。

要求の前進のために職場づくりの英知を

江戸川支部　宇田川代議員

宇田川代議員

石原都政のもと、トップダウンによる施策で、職場は多忙を極めています。このような中、私たちの要求を前進させるためには、都教組六十年のとりくみで確立してきた職場づくりの英知を展開することが必要です。しかし、都教委はOJTという名で、彼らが狙う人材づくりを行い、職場を根本から変えようとしています。

だからこそ一割の組織拡大は譲れない課題です。江教組は、この四月から三人の加入を実現しました。新年度としては近年で最高の加入者数です。

三十人学級実現の課題では、呼びかけ人の藤田昇さんが、「この運動は大変意の長いたたかいとなるだろう。しっかりと腰をすえてとりくむ必要がある」と言っています。しかし、この情勢を都議選・総選挙という絶好のチャンスに変えましょう。

主任教諭の問題についても、CEART勧告などに廃止のためのキーワードがかくされています。そのためにも、都教組は、大同団結して強く大きくならなければなりません。

総括的討論

執行部見解

執行部の見解を申し述べます。はじめに、青年の輝く発言がたくさんあり、また、子どもと教育を守るたたかいをすすめる決意のあふれるすばらしい討論でした。ありがとうございました。

第一に、島しょの問題です。島で働く魅力、島に行きたいという条件を整えていくことが大切です。秋の確定闘争でも、島しょの地域手当問題を重要な要求として奮闘する決意を伝えておきたいと思います。

第二に、パワハラに苦しむ青年・新採者がたくさんいます。「新規採用の先生は、組合に加入してもらって守る」これを大切にしたいと思います。加入したことで雇い止めになった新採者はいません。青年部・女性部のパワハラアンケートの結果をふまえながら、このことも重点的に取り組みたいと思います。

第三に、二十四万筆を集めた三十人学級実現署名は、近年では傑出した到達点です。連絡会は、三十人学級を求める請願を都議会に提出し、都議へのアンケートにとりくんでいます。引き続き、都議会議員選挙の争点に三十人学級実現を押し上げるとりくみを強めます。

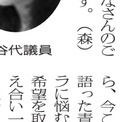
第四に、主任教諭反対・廃止のとりくみについてさまざまな議論が交わされました。方針案の提案の時にも強調しましたが、主任教諭制度の本質を職場で議論し、すべての教職員がしっかりつかむことがこのとりくみの中心です。子どもたちにとってはみんなが「先生」である私たち教諭職それを使って行政が求める教師像に私たちをはめ込み、上からの命令で動く教員に変えていくことがねらいです。その犠牲者は何よりも子どもです。これは、差別・選別、競争と管理、道徳・規範意識の学習指導要領の中身を教室に持ち込むためのピラミッド体制づくりだからです。この点で、主任教諭の導入は、「教育の条理」を踏みにじる許し難い攻撃です。そもそも教員の職務は、学校教育法三十七条の十一項で「教諭は児童の教育をつかさどる」と定められています。戦前の法令に書かれていた「学校長の命を受け」という言葉が削られました。子どもたちの一番近くにいる私たちが、その子の成長にとって何が大切なのかを自分で考え、仲間と対等・平等に話し合い、自分たちで責任もって教育に当たる制度に根本的に変わったからです。今度の制度で、それを逆戻りさせるようなことがあってはならないと思います。都教組執行部は、子どもと教育を守るために、主任教諭制度の反対廃止、二級賃金の改善を求め、すべての教職員に呼びかけて全力でたたかう決意です。この点での総団結を固めていきましょう。

これらの前提に、総括は議案書の原案をふまえ、引き続き論議を重ねていきます。また人材育成基本方針やOJTガイドラインなどについても総括をすすめていきたいと思います。また、都教組執行部は、主任教諭制度導入当時から、個人の選択としても、組織としても、「受験する」という方針もとりませんでした。その点をみなさんと再確認したいと考えます。以上です。

青年がつながり、支えあえる場をパワハラなくすとりくみを

青年部　町田支部
北多摩西支部　森代議員
大谷代議員

森代議員


大谷代議員

■町田支部青年部は、青年同士のつながりをつくりたいと、月に一度の学習会・交流会を開いています。青年はつらい」となかなか言えずに一人で悩み落ち込むことがあります。いわゆる「自己責任論」です。しかし、そんな悩みも「新歓ジャンプ」に、職場の青年を誘ってぜひ一緒に参加してください。みなさんのご協力をお願いします。（森）

ちょっとした声かけで救われます。お互いがつながりあい支えあえる場をつくることが大切です。六月七日の青年部

■「私に逆らったらクビ」「夜八時まで校長室で教材研究」など、人格の完成をめざすべき学校で、心身を痛めつけ人格を傷つけるパワハラが横行しています。青年部では二月に「パワハラ問題学習会」を行い深刻な実態と対策について学びました。「組合の先生が肩に手を置いて励ましてくれた。その温かさがなかったら、今ここにいないかも」と語った青年のように、パワハラに悩む人が、組合に出会い希望を取り戻しています。支え合い一緒にたたかってくれる組合を大きくしていきたいと思います。（大谷）

非常勤教員の不当な「雇い止め」市民とともに取り組む

南多摩支部　林代議員

林代議員

このような先生が、「雇い止め」になったことに対して、地区協では市教委交渉、分会長は校長への抗議を行いました。また、本人は校長の推薦書、または推薦しない理由書の開示請求を行いましたが、肝心なところは黒塗りでした。

南多摩支部では、全教職員署名にとりくみ、市教委・校長への要請ハガキ行動、元保護者、同僚、市民など百五十名が参加の市民集会を開催するなどのとりくみをすすめてきました。

このたたかいは、不当な「雇い止め」に対するものであるとともに、子どもと教育を守るたたかいです。

都教委・地教委・校長による不当な非常勤教員の「雇い止め」問題について報告します。

一月に一片の不合格通知が、組合員である職場の非常勤教員に手渡されました。この先生は、職場での信頼も厚く、子どもの指導や実践力、保護者からの信頼も厚い先生で、子どものためになる仕事は、どんどんすすんでやり、一方、おかしいと思ったことは、率直に意見を述べてきた方です。

都教組第96回定期大会来賓名簿（順不同）

全日本教職員組合中央執行委員長　山口　隆様
東京地方労働組合評議会（東京地評）　議長伊藤　潤一様
東京都労働組合連合会（都労連）　委員長　武藤　弘道様
日本共産党東京都議会議員　大山とも子様
東京都庁職員労働組合　委員長　河野　正様
東京都障害児学校教職員組合（都障教組）副委員長　尾林　芳匡様
都教組弁護団　弁護士　池谷　正様
東京の民主教育をすすめる教育研究会議　事務局長　矢澤　正道様
東京母親大会連絡会委員長　大橋美枝子様
障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会　会長　小林　良廣様
東京都学校生活協同組合　理事長　吉川　方章様
桜保険事務所　部長　藤巻　晋様
全労済東京都本部　中村　雄大様
中央労働金庫東京都本部　神林　泰勝様
中央労働金庫市ヶ谷支店　相川　卓也様
元都教組委員長　増田　孝雄様
元都教組委員長　高岡　岑郷様
元都教組委員長　中川原　隆様
前都教組委員長　中山　伸様
東京都退職教職員連絡協議会　小松崎　栄様
都教組専門委員　新堀　義昭様
都教組特別執行委員　磯崎　四郎様
都教組特別執行委員　木原　秀子様
日本共産党東京都委員会　様
㈱きかんし　様

都教組第96回定期大会への祝電・メッセージをいただいた団体・個人の方々（順不同）

日本高等学校教職員組合中央執行委員長　加門　憲文様
全国私立学校教職員組合連合中央執行委員長小村　英一様
全北海道教職員組合執行委員長　本間　正博様
埼玉県教職員組合中央執行委員長　費田　教秋様
全栃木教職員組合中央執行委員長　小久保富治様
全教千葉教職員組合中央執行委員長　高橋　皮浩様
岐阜県教職員組合執行委員長　村上　達也様
和歌山県教職員組合執行委員長　武内　正次様
京都教職員組合執行委員長　藤本　雅英様
大阪教職員組合中央執行委員長　辻　保夫様
全広島教職員組合執行委員長　福岡　篤紀様
香川県教職員組合中央執行委員長　平尾　行敏様
高知県教職員組合執行委員長　西山　潤様
愛媛県教職員組合中央執行委員長　新川　雄也様
北海道高等学校教職員組合連合会中央執行委員長　櫻井　幹二様
青森県高等学校・障害児学校教職員組合執行委員長　谷崎　嘉治様
宮城県高等学校教職員組合執行委員長　佐藤　春治様
茨城県高等学校教職員組合執行委員長　岡野　一男様
埼玉県高等学校教職員組合　様
群馬県高等学校教職員組合執行委員長　須田章七郎様
東京都高等学校教職員組合執行委員長　川上　淳様
山梨県高等学校・障害児学校教職員組合執行委員長　佐藤　弘様
長野県高等学校教職員組合執行委員長　高村　裕様
滋賀県公立高等学校教職員組合執行委員長　杉原　秀典様
静岡県高等学校障害児学校教職員組合執行委員長　木藤　功様
富山県高等学校教職員組合執行委員長　増川　利博様
福井県高等学校教職員組合執行委員長　鈴木　孝典様
愛知県高等学校教職員組合執行委員長　高崎　和子様
京都府立高等学校教職員組合執行委員長　原田　久様
大阪府立高等学校教職員組合執行委員長　志摩　毅様
和歌山県高等学校教職員組合執行委員長　茂野　和廣様
岡山県高等学校教職員組合執行委員長　岩佐　仁志様
兵庫県高等学校教職員組合執行委員長　津川　和久様
愛媛県高等学校教職員組合執行委員長　松尾　博文様
香川県高等学校教職員組合執行委員長　藤原　誠司様
佐賀県高等学校教職員組合執行委員長　坂本　景様
長崎県高等学校教職員組合執行委員長　田島　章様
神奈川県立障害児学校教職員組合執行委員長村田　豊様
横浜市立高等学校教職員組合執行委員長　浅野　茂雄様
全水道東京労働組合執行委員長　池田　政一様
全水道東京労働組合書記長　上村　時彦様
東京交通労働組合執行委員長　久保　秀明様
都庁職都立学校支部　様
全日本教職員共済連合会理事長　山口　隆様
東京自治労連中央執行委員長　荻原　淳様
自治労連東京都庁職員労働組合執行委員長　森田　稔様
全国自動車交通労働組合総連合東京地方連合会執行委員長　様
自治労連東京水道労働組合中央執行委員長　石川　友好様
東京靴工組合本部執行委員長　豊田　太一様
全労連・全国一般東京地方本部中央執行委員長　様
東京土建一般労働組合中央執行委員長　巻田　幸正様
東京私大教連中央執行委員長　岡野　内正様
農民運動全国連合会会長　白石　淳一様
国民の食糧と健康を守る運動全国連絡会事務局長　様
子どもと教科書全国ネット21　坂口　正明様
日本学生支援機構労働組合中央執行委員長　藤井　和子様
婦人民主クラブ東京都協議会代表　様
新日本婦人の会東京都本部会長　藤井　則子様
東京都保育問題協議会会長　様
自由法曹団東京支部　様
東京商工団体連合会会長　様
東京人権と生活運動連合会執行委員長　様
日本国民救援会東京都本部会長　様
東京都高校問題連絡協議会　様
東京民主医療機関連合会会長　様
三多摩高校問題連絡協議会　様
税理士法人中央税経センター代表社員　様
革新都政をつくる会　様
東京都生活と健康を守る会連合会会長　様
非核の政府　非核の東京を求める会（東京非核政府の会）　様
憲法改悪阻止東京連絡会議（東京憲法会議）　様
東京都アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会理事長　様
東京社会医学研究センター　様
平和・民主・革新の日本をめざす東京の会（東京革新懇）　様
日本科学者会議東京支部代表幹事　様
元都教組執行委員長　様
元都教組執行委員長　様
あかつき印刷株式会社　様
桜保険事務所　様
富士国際旅行社　様
西東京市長　様
国立市長　様
日本共産党参議院議員　様
日本共産党衆議院議員　様